

情報通信審議会 情報通信技術分科会
携帯電話等高度化委員会
第4世代移動通信システム作業班（第5回） 議事要旨（案）

1 日時

平成24年10月17日(水) 14:30~16:00

2 場所

中央合同庁舎第2号館(総務省) 8階 第1特別会議室

3 出席者(敬称略)

作業班構成員:

若尾 正義	元(一社)電波産業会
城田 雅一	クアルコムジャパン(株)
石川 禎典	(株)日立製作所
今井 亨	日本放送協会
長内 忍	(株)TBSラジオ&コミュニケーションズ (代理:大口 修)
川島 修	(株)エフエム東京
河野 宇博	スカパーJ S A T(株)
菅田 明則	K D D I(株)
高田 仁	(一社)日本民間放送連盟 (代理:堀口 由多可)
高橋 政博	(株)テレビ朝日
田中 伸一	ソフトバンクモバイル(株)
皆瀬 修	富士通(株)
中川 永伸	(財)テレコムエンジニアリングセンター
吉田 英邦	日本電信電話(株) (代理:太田 和彦)
中村 光行	日本電気(株)
日高 秀樹	京セラ(株)
古川 憲志	(株)NTTドコモ
上杉 充	パナソニックモバイルコミュニケーションズ(株)
諸橋 知雄	イー・アクセス(株) (代理:福本 史郎)
山崎 潤	ノキアシーメンスネットワークス(株)
山本 裕彦	シャープ(株)
要海 敏和	UQコミュニケーションズ(株)

事務局:

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 田原、同課 課長補佐 中越、同課
第二技術係長 西森、同課 第二技術係 難波

4 配布資料

資料番号	配布資料	提出元
資料4G移5-1	第4世代移動通信システム作業班(第4回)議事要旨(案)	事務局
資料4G移5-2	第4世代移動通信システムの導入に向けて	日立製作所
資料4G移5-3	3.4~3.6GHz 帯の干渉調査の進捗状況	イー・アクセス ほか
資料4G移5-4	3.4-3.6GHz 帯携帯電話システムの干渉検討の実施方法 (案)	NTTドコモ
資料4G移5-5	3.4-3.6GHz 帯における既存システムとの共用検討パターン(案)(放送事業用システムとの組合せ)	NTTドコモ
資料4G移5-6	3.4-3.6GHz 帯における既存システムとの共用検討パターン(案)(衛星系システムとの組合せ)	NTTドコモ
資料4G移5-7	第4世代移動通信システム作業班 検討状況報告(案)	事務局
参考	第4世代移動通信システム作業班 構成員	事務局

5 議事概要

(1) 前回議事要旨について

前回議事要旨(案)(資料4G移5-1)は、作業班構成員に事前に送付されていることから読み上げは省略して配付のみとし、気づきの点があれば、10月24日(水)までに事務局あて知らせることとなった。

(2) 第4世代移動通信システム(IMT-Advanced)について

石川構成員から、資料4G移5-2に基づき、第4世代移動通信システムの導入に向けての説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

若尾主任：P.1のトラフィック推定の図は、次世代システムの検討をしたものか。

石川構成員：2007年に一度検討したものを再検証したもので、IMT-Advancedまでを想定して記載している。

菅田構成員：P.4のグラフについて、Interference Limitationを見るとEb/N0の増大に伴って周波数利用効率が下がっているが、具体的にはどういうことか。

石川構成員：持ち帰り、後日事務局を通して回答する。

(3) 3.4~3.6GHz帯の干渉調査の進捗状況について

ア 事務局から、資料4G移5-3に基づき、3.4~3.6GHz帯の干渉調査の進捗状況について説明された。

イ 古川構成員から、資料4G移5-4に基づき、3.4-3.6GHz帯携帯電話システムの干渉検討の実施方法(案)の説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

若尾主任：占有周波数帯幅が20MHz、40MHz、60MHz、80MHz、100MHzとあるが、電力密度での換算ではなく、5パターンすべて検討を行うということか。

古川構成員：そのとおり。占有周波数帯幅によってフィルタの性能差もあることから、隣接チャンネルへの漏洩だけでなく、標準規格として定義されているすべてのパターンを検証する。

ウ 古川構成員から、資料4G移5-5に基づき、3.4-3.6GHz帯における既存システムとの共用検討パターン(案)(放送事業用システムとの組合せ)の説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

菅田構成員：①山間部と都市部で分けられているが、検討上どのような差が出るのか。例えば、使用する伝搬モデルが異なるなどするのか。②FPUのアンテナ高が180mと設定されている。しかし、携帯電話側は、3.4GHz~3.6GHzでは小セルでの運用が見込まれており、かつアンテナのチルト角を考慮すると、基地局側の受信アンテナのパターンを含めた検討が必要ではないか。

古川構成員：①今のところ決まっているのは、山間部と都市部を分けて検討することと、高さ等のパラメータまで。詳細は今後検討していくこととしている。②今後、検討を進めていく中で留意する。

エ 古川構成員から、資料4G移5-6に基づき、3.4-3.6GHz帯における既存システムとの共用検討パターン(案)(衛星系システムとの組合せ)の説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

河野構成員：資料4G移5-4の図1.1-1における「(?)」については、資料4G移5-6では矢印になっている。資料4G移5-4の修正をお願いする。

古川構成員：了解した。

菅田構成員：P.5にあるアンテナ高について、地上高だけでなく海拔高も考慮することを失念しないよう図を修正した方が良いのではないかと。

古川構成員：指摘のとおり修正する。

若尾主任：パラメータを示す際にあわせて対応をお願いする。

田中構成員：P.6における集約しようとしているエリアは広範囲すぎるのではないかと。

古川構成員：図では例示として市町村単位でまとめているが、受信アンテナを設置している受信サイト単位でまとめ、最悪値を検討することとしている。1の受信サイトにおいて設置されるアンテナが、複数市にわたるなど、広範囲に設置されていることはないと考えている。

若尾主任：引き続きアドホックでの検討をお願いする。

(3) 3.4～3.6GHz帯の干渉調査の進捗状況について

事務局から、資料4G移4-8に基づき、3.4～3.6GHz帯の干渉調査に向けた事前検討の進捗状況について説明された。その際、システム毎に進めている検討結果を次回作業班の場で報告すると補足された。

(4) 第4世代移動通信システム作業班 検討状況報告(案)について

事務局から、資料4G移5-7に基づき、第4世代移動通信システム作業班 検討状況報告(案)の説明があり、その後次のとおり質疑応答があった。

若尾主任：ローマ数字の表記に対して、各スライドのタイトルの文字が大きすぎるため、タイトルとのつながりが分かりづらい。委員会への報告までに修正いただきたい。

その他、意見等あれば10月24日(水)までに事務局へ連絡することとした。また、細かな修正の扱いは主任と事務局に一任された。

(5) その他

事務局から、次回作業班については11月末～12月に開催予定であるが、詳細については主任と相談の上、別途連絡されることが連絡された。

以上